

第 1 期恵庭市総合戦略検証資料（概要版）

恵庭市では、人口減少や少子高齢化が急速に進む社会情勢においても、高い持続性を確保し、この地で暮らすことに幸せを感じられるまちづくりを進めるために、平成 27 年に恵庭市が目指す方向性や具体的な施策、目標の達成度合いを計る客観的指標を定めた「第 1 期恵庭市総合戦略」を策定し、横断的に事業を実施してきました。

1. 第 1 期恵庭市総合戦略の検証方法

恵庭市総合戦略では、数値目標のほか、具体的な施策・事業についての目標の達成度合いを計るため、KPI（重要業績評価指数）を設定しました。また、数値だけではなく、事業に取り組んでいる担当者の意見も取り入れながら、本市の地方創生にどの程度の効果があったかを分析します。

分析結果については、恵庭創生懇談会で検証していただき、検証結果を次期総合戦略に反映させていきます。

数値目標	基準値	中間値（H30）	目標値（R 元）
純移動数 （「転入者数－転出者数」：転入超過数）	180 人（H26）	1,654 人 （H27～H30 累計）	1,209 人 （H27～R 元累計）
観光入込客数	1,332,561 人（H26）	1,356,869 人（H30）	1,460,000 人（R 元）
女性就業率	42.9% （H27 国勢調査）	国勢調査後判明	H27 国勢調査対比↑ （R2 国勢調査）
若年者就業率	53.2% （H27 国勢調査）	国勢調査後判明	H27 国勢調査対比↑ （R2 国勢調査）
合計特殊出生率	1.29（H24）	1.33（H29）	1.41（R 元）

2. 第 1 期総合戦略の成果と課題

恵庭市では、恵まれた地理的優位性を活かし、様々な特色を連携させ、人口減少と地域経済縮小に立ち向かうべく、戦略的に自治体運営を進めてきました。

その結果、「ひと」に関わる成果として、2019 年（令和元年）9 月末時点で住民基本台帳人口が 70,009 人となり、人口減少が叫ばれる中、着実に人口が増加してきました。しかし、この人口増加は転入超過によるものであり、自然減は継続していることから、取り組みのさらなる強化が求められます。

「しごと」に関わる成果として、女性就業率や若年者就業率が前回国勢調査値と比較して上昇しています。直近の統計数値は確認できていませんが、保育園の入所希望が増加していることから、女性や若年者就業率が伸びていることが想定され、今後も誰もが働きやすい環境づくりの推進が求められます。

「まち」に関わる成果として、「かしわのもり」や「えにあす」が開業し、利用者数が順調に伸びていることから、市民の活動やふれあいの場づくりが進んでいると考えられます。

また、「駅前のにぎやかさを感じる市民の割合」が増加していることや、「住みやすいまちと感じている市民の割合」が高止まりであることから、市民満足度の高いまちづくりが進められていると考えられます。今後は地方としての魅力ある企画を展開し、道内外に恵庭の名を発信して投資と消費を集め、「住んでいてよかった」、「住んでみたい」と思える魅力あるまちづくりを進めていく必要があります。

【4つの基本目標と付随する各施策、KPI】

（１）人がつながり人口減少に負けない魅力あるまちづくり

- ①多世代交流の推進 ②広域化による機能維持・増進 ③駅周辺の賑わいづくり
④公共施設マネジメント ⑤PFI・PPPの推進

KPI	基準値	中間値（H30）	目標値（R元）
複合施設利用者数(人)	67,083人(H26)	593,956人(H30)	220,000人
都市間交流による商品開発数(累計個数)	0個(H26)	22個(H30)	5個
エコバス利用者数(人)	248,008人(H26)	299,270人(H30)	300,000人
最寄りの駅周辺に賑わいがあると思う人の割合(%)	15%(H26)	28%(H30)	20%
公共施設床面積(㎡)※削減	276,615㎡(H26)	254,169㎡(H30)	271,083㎡
PFI・PPP件数(件)	16件(H26)	18件(H30)	18件

（２）安全安心に住み続けたいまちづくり

- ⑥暮らしの情報共有・充実 ⑦住宅政策の推進 ⑧健康・長寿の推進 ⑨防災環境の充実

KPI	基準値	中間値（H30）	目標値（R元）
市ホームページアクセス数(アクセス)	396,056アクセス(H26)	971,727アクセス(H30)	480,000アクセス
住み替えフェア参加者数(累計人)	0人(H26)	216人(H30)	500人
複合施設利用者数(人)	67,083人(H26)	593,956人(H30)	220,000人
住宅用火災警報器普及率(%)	77%(H26)	78%(H30)	86%

（３）恵庭らしさを活かした魅力あるまちづくり

- ⑩地域資源活用観光振興 ⑪地域産業活性化 ⑫産業連関表を活用した地域経済活性化
⑬地域エネルギー有効活用 ⑭就労促進 ⑮中小企業支援事業・起業家支援
⑯移住定住促進 ⑰高等教育機関等と連携した若者定着と知の拠点づくり

KPI	基準値	中間値（H30）	目標値（R元）
観光入込客数(人)	1,332,561人(H26)	1,356,869人(H30)	1,460,000人(R元)
投資商談件数(人)	0人(H26)	115人(H30)	86人

KPI	基準値	中間値 (H30)	目標値 (R 元)
産業 PR イベント参加者 人数(人)	2,000 人(H26)	5,800 人(H30)	3,000 人
ふるさと納税件数(件)	34 件(H26)	26,190 件(H30)	4,000 件
産業連関表作成	—	H28 作成完了	作成完了
地域エネルギーの生産量 (TJ)	31TJ(H26)	53TJ(H30)	55TJ
地元(大学・専門学校)卒業 者の地元就職(人)	37 人(H26)	25 人(H30)	60 人
農福連携による就労者・ 就労訓練者数(累計人)	0 人(H26)	2,479 人(H30)	330 人
起業件数(累計件)	0 件(H26)	16 件(H30)	5 件
移住ウェブサイトアクセス 数(アクセス)	43,000 アクセス (H26)	51,918 アクセス (H30)	50,000 アクセス

(4) 希望を持って子育てしたくなるまちづくり

⑱少子化対策推進事業 ⑲結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

⑳教育環境の充実、学力向上

KPI	基準値	中間値 (H30)	目標値 (R 元)
子育て応援企業表彰件 数(累計件数)	0 件(H26)	6 件(H30)	10 件
合計特殊出生率	1.29(H26)	1.33(H30)	1.41
土曜授業延べ日数(日)	8 日(H26)	36 日(H30)	26 日

3. 第2期総合戦略に向けての方針

国全体で見ると、東京圏など大都市圏への人口一極集中は続いており、さらに出生数も低下の一途をたどっています。有効求人倍率も上昇を続けるなど人手不足感は都市部や地方の共通の課題です。

恵庭市では、現時点で人口増加となっていますが、中長期的に増加傾向を継続させることは難しく、引き続き第1期総合戦略で掲げた人口減少に負けない魅力あるまちづくりを進める必要があります。

そのために、第1期恵庭市総合戦略を基本的に継承しつつ、国が示す Society5.0 や SDGs、「関係人口」の創出・拡大、国土強靱化などを第2期総合戦略に盛り込みながら、さらに人口減少に負けない魅力ある恵庭づくり、ガーデンシティプランを推し進めていきます。

※Society5.0…仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会

※SDGs…世界が2016年から2030年までに達成すべき17の環境や開発に関する国際目標。